

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

サクビトリルバルサルタンが当院循環器内科におけるループ利尿薬使用量に与える影響

2. 研究責任者(当院)

所属：薬剤科

氏名：高山 陽太

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：

代表名：

3. 分担研究者

所属：薬剤科

氏名：富田 歩子

4. 研究対象者

2020 年 12 月から 2023 年 11 月の期間で、当院循環器内科からサクビトリルバルサルタンが 1 年以上処方され、かつ処方開始時にループ利尿薬が処方されていた患者、および同期間にループ利尿薬を 1 年以上処方されていた患者

5. 研究の必要性

ループ利尿薬は急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017 年改訂版）では、慢性心不全におけるエビデンスはほとんど存在していない。また、過度な使用は腎機能だけでなく、予後までも悪化させることが報告されており、必要最低限の使用にとどめるべきであると記載されている。2021 年 JCS/JHFS ガイドライン フォーカスアップデート版急性・慢性心不全診療にて、心不全治療の基本薬の一つとしてサクビトリルバルサルタンの薬効分類である ARNI が追加された。サクビトリルバルサルタンは利尿作用があることが知られている。サクビトリルバルサルタン使用がループ利尿薬使用量に与える影響を検討することで、ループ利尿薬の使用量を減らす提案ができると考え、今回の研究を立案した。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

個人が特定されない情報で研究を行うため、個人に対する影響はないと考えている。サクビトリルバルサルタン使用がループ利尿薬の使用量を減らすならば、ループ利尿薬を必要最低限の使用にとどめた処方を提案できるため、患者に有用であると考えられる。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：4161

担当者氏名：高山陽太

対応時間：平日 8:30-17:00

2.